

(2) ぶどう(ナガノパープル、シャインマスカット) 《 審査日:平成30年9月12、26日 》

①審査所見

51回目を迎えた本コンクールは、種なしで皮ごと食べられる品種を更に推進するため、「ナガノパープル」と「シャインマスカット」を対象に行いました。昨年までは2品種を同時に行っていましたが、今回からは収穫期にあわせるため別々の日程での開催としました。

今年のコンクールの出品点数は「ナガノパープル」44点、「シャインマスカット」73点の計117点でした。「シャインマスカット」の出品数が前年より増えたことは、品種により審査日を分けて実施したことや、生産者及び関係機関のたゆまぬ努力により生産意欲が高まっていることの現れと存じます。

「ナガノパープル」につきまして、出品された果房の多くは、ややゆるめの握り房を意識し、30粒程度に摘粒されていましたが、一部に、摘粒不足と考えられる着粒の多い房が見られました。第二次審査に進んだ21点の平均1粒重は16.9g、平均糖度は21%と高く、食味は良好でした。1粒重は14g～21gと幅があり、果粒数を減らして目標果房重に調整している果房も見られました。全体的に樹齢が進んだことにより、果粒肥大が旺盛となっており、房づくりに苦労されている様子が伺われます。着色はおおむね良好でした。きれいにブルームの乗っている果実がある反面、ブルームが薄く、薬液斑が認められたものもありました。果粒の揃いも出品物による差が大きくなったように感じられました。

「シャインマスカット」については、目標の糖度に達しない房が多く見られました。9月上中旬の降雨が大きく影響したと考えられ、糖度だけがやや低く、第二次審査に進めなかった出品物が多かったのが残念でした。房型は、房長が長く、肩のまとまりも悪い房が目立ち、房型のばらつきが目立ちました。摘粒不足の房や果粒が内側に入り込んでいる房も見受けられ、今後は房型の均一化が課題だと感じました。着色については、4房の着色の揃いを新たに審査項目に加え、重点的に審査しました。4房のばらつきだけでなく、房の上部と下部でのばらつきが見られましたが、その中で、上位入賞の出品物は、1房内、房同士の着色が揃っていました。第二次審査に進んだ20点の平均1粒重は15.6g、平均糖度は19.9%でした。審査の結果、上位入賞されたものは、房形、着色、果粒肥大、食味などが総合的に優れており、房型が模範となるぶどうに仕上がっていました。関係者による指導の賜物と拝察いたします。

ぶどう産業は品種構成が大きく変わる時期にあり、産地間競争の激化も見られています。本県として統一的な品質向上が図られるよう関係各位のご協力を賜りますことをお願いするとともに、各産地がますます発展されることをご祈念申し上げ、審査所見といたします。

②入賞者名簿

ナガノパープル

区 分	氏 名	市 町 村
農林水産大臣賞	竹前陽平	須 坂 市
長野県知事賞	岩城光好	須 坂 市
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	伊藤秀樹	長 野 市
	青木良文	須 坂 市
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	押金肅人	東 御 市
全国農業協同組合連合会長野県本部長賞	関野忠勝	須 坂 市
	山崎広子	須 坂 市
一般財団法人長野県果樹研究会賞	伊藤俊幸	小 布 施 町

シャインマスカット

区 分	氏 名	市 町 村
生産局長賞	加藤 明	飯 田 市
長野県知事賞	山崎佐斗志	須 坂 市
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	田中定勝	須 坂 市
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	若林賢司	東 御 市
	樋田敏孝	小 布 施 町
全国農業協同組合連合会長野県本部長賞	牧 壮一	須 坂 市
一般財団法人長野県果樹研究会賞	竹前正利	須 坂 市
	町田信夫	千 曲 市

## 第4部 くだものの部

### (1) りんご(シナノスイート) 《 審査日:平成30年10月15日 》

#### ①審査所見

長野県で育成された「シナノスイート」は、栽培しやすく商品化率が高い品種であり、平成29年の県内栽培面積は747haと「ふじ」、「つがる」に次ぐ基幹品種となっています。

さて、コンクールは県内の産地育成・生産振興と栽培技術及び品質の向上を図ることを目的に、平成15年から実施されており、本年も県内各地から308点(本選46点)の出品がありました。

審査は、審査基準に基づき色沢、玉揃い、形状、糖度、軽欠点果等を審査し、糖度測定には簡易型の光センサーを活用し、食味にも配慮した審査とするなど厳正かつ公正に行いました。

本年のりんごは、7～8月の記録的な高温干ばつにより、高温に伴う果面の日焼け発生など高温障害の発生が問題となりました。また、9月には、高温から一転し、多雨と日照不足で経過し、9月4日には台風21号の来襲により、北信地域を中心に落果や果面の擦れ傷等の被害が発生しました。

この様な大変厳しい生産条件でありましたが、今回の出品物は、いずれも日頃の丹精込めた管理が推察され、生産者の栽培技術を競うコンクールにふさわしい果実でありました。

出品財の平均糖度は、14.2%と、昨年を上回る高い糖度でした。上位入賞品は、糖度は高く、特に着色は素晴らしく仕上がっており、葉摘みや玉回しなどの管理も行き届いていました。果形や玉揃も良好で、軽欠点もなく、選果・出品技術の高さもうかがえました。入賞を逃した出品財も遜色なく、その差は果形不良や葉や枝かげによる着色ムラなど極些細な欠点によるものでした。全体としては、栽培面積の増加にともない栽培技術は着実に向上していると感じましたが、入賞に向けては一層きめ細かな管理・選果をお願いします。

出品者の皆様には、県オリジナル品種の栽培に積極的に取り組まれ、気象災害などがあつた中で、栽培技術の粋を尽くした果実を多数出品いただいたことに感謝申し上げます。また、受賞されました皆様にお祝いを申し上げますとともに、今後とも各地域での生産振興に先導的にご尽力いただきますことをお願い申し上げます、審査所見といたします。

#### ②入賞者名簿

区 分	氏 名	市 町 村
農林水産大臣賞	柳澤 淳	立科町
生産局長賞	古幡豊和	山ノ内町
長野県知事賞	飯嶋明生	東御市
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	小宮山正峰	立科町
	野口昂大	茅野市
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	藤澤 一	中野市
全国農業協同組合連合会長野県本部長賞	渡辺幸一	山ノ内町
一般財団法人長野県果樹研究会会長賞	湯本将平	山ノ内町
	黒岩厚志	高山村